

# JACET Kansai Newsletter

No. 104 June 15, 2026

一般社団法人大学英語教育学会関西支部 (JACET Kansai Chapter)

支部長: 石川慎一郎 (神戸大学) (Chapter President: Shin'ichiro ISHIKAWA, Kobe University)

事務局: 〒630-8258 奈良県奈良市船橋町 10

奈良県立大学地域創造学部 大槻きょう子研究室内 JACET 関西事務局 大槻きょう子  
(Chapter Office: c/o Kyoko OTSUKI, Faculty of Regional Promotion, Nara Prefectural University,  
10 Funahashi-cho, Nara city, Nara 630-8258)

URL: <http://www.jacet-kansai.org/> (関西支部へは左の URL からご連絡ください)

## 巻頭言: どうなる? どうする? 10 年後の学会

石川 慎一郎 (支部長)

おかげさまで、2026 年 3 月に開催した 2025 年度支部大会は、過去最多となる 28 本の発表を数え、130 名を超える皆様のご来場を得て、大成功の裡に幕を閉じました。講演者の皆様、発表者の皆様、ご来場者の皆様、また、当日の企画や会場運営を担当くださった研究企画委員の皆様、素晴らしい会場を無償で提供くださった大阪成蹊大学様、出展で大会を盛り上げてくださった企業の皆様に厚く御礼申し上げます。支部執行部では、この成功を次回大会にもしっかりと引き継いでいくべく、春から気持ちを新たに業務に取り組んでいるところです。

皆様のお力添えを得て、ここ数年、関西支部は往時の勢いを取り戻しつつあるところですが、一方、日本の英語教育系学会の 10 年後、20 年後に思いをはせると、少子化に伴う大学の合併や閉鎖、英語教育の縮小や外注化、教員数の減少と残された教員の仕事量の増大、次代の会員となるはずの大学院進学者の減少などなど、課題は文字通り山積しており、なかなか大変な時代になってきたなという気がいたします。うーん、どうしたものか。

そこで、3 月の支部大会の基調講演でも大いに話題になった生成 AI (無課金版!) に「日本の英語教育系学会は会員数が減少し、活動の維持がむづかしくなっています。学会を活性化させる実効性のある提案を 3 つ挙げてください」という質問を投げてみました。

Gemini くん(さん?)は、まず、1 つ目として『『実践知』のオンデマンド化とデジタル・ライブラリの構築』を掲げました。「多くの現職教員が学会に求めているのは、理論だけでなく『明日の授業で使えるエビデンスに基づいた手法』で」とし、教員研修に代わるものとして、マイクロ・ラーニングの導入(全国大会の発表やセミナーを 10~15 分程度の動画に再構成し、会員専用サイトでアーカイブ化)、教材・指導案の共有プラットフォーム構築(論文だけでなく、査読を経た「質の高い教材・指導案・ワークシート」を DL できる仕組みを構築し、入会の実利を高める)、検索可能なナレッジベースの構築(過去の膨大な紀要を、キーワードや「中 1・動詞」などのタグで即座に検索できる UI の整備)が必要だと述べています。お、なかなかいいですね!

2 つ目は『研究者』と『実務家(教員)』の共創モデルへ

の転換で、「大学教員中心の『上意下達型』の組織構造から、学校現場の課題を起点とした『双方向型』のコミュニティへの転換が必要」とであるとして、アクション・リサーチの支援(現場教員の研究発表に対するハードルを下げ、大学の研究者が伴走する「メンター制度」を公式に導入)、「課題解決型」分科会(SIG)の常設(「不登校生徒への英語指導」「生成 AI の活用」など、現場が直面する現代的課題に特化した小規模なコミュニティを活性化させ、心理的・物理的な距離を縮める)、共同研究マッチング(現場のデータが欲しい研究者と、指導の客観的評価が欲しい教員を学会が仲介する仕組み)などが必要だとしています。いやあ、素晴らしい。Agree!

最後に 3 点目は「柔軟な会員制度と『学会間アライアンス』の推進」で、「高額な年会費や、複数の学会に所属する負担が若手や現職教員の足かせになって」いるとして、サブスクリプション型・階層型会費制(全機能利用・動画閲覧のみ・若手限定など、ニーズに合わせた会費設定)、学会間共通パスポート(英語教育系の関連学会(JACET, LET, JASELE 等)と提携し、他学会の大会にも会員価格で参加できる、あるいは共通の ID でログインできるプラットフォームの統合)、企業・スタートアップとの連携(EdTch 企業を賛助会員としてだけでなく「パートナー」として迎え、最新技術の知見を得ると同時に、学会の運営資金を多角化)などです。おおっ、素晴らしい! ついでに英語や日本語といった言語種の枠を超えた大同団結を勧め、諸学会を包含する真の「日本応用言語学会」が爆誕すると最高ですね。

こうして考えてみると、学会の将来を悲観する前に、まだ試していないことが山ほどあることに気づきます。法人格を持つ JACET 全体で急進的的改革を行うのは困難ですが、支部ならば小回りが利きます。多彩な会員を擁し、かつ、つまらない権威や建前を笑いでぶっとばす関西 DNA を共有する関西支部は、学会改革策を試行するサンドボックスとして大きな潜在力を持つと言えるでしょう。

私に残された任期は 1 年を切りましたが、まずは「元気な関西支部」の基盤をしっかりと固め、そこから JACET をはじめとする日本の学会の未来を照らせる提案ができるよう、皆様と一緒に頑張っていきたいと存じます。今後とも、

ご批判、ご叱正、また、お力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。

### ■今年度のイベント・カレンダー■

#### Event Calendar of AY 2026

| 日時<br>(Date) | 行事・概要<br>(Event)                                                                                                                                                                  |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2026/6/20    | 第1回研究交流会(REP)@オンライン<br>Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 1st Meeting<br>第1回支部講演会・支部役員会@オンライン<br>Kansai Chapter 1st Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, online |
| 2026/9/30    | 『JACET 関西支部紀要』29号投稿原稿締切<br>The deadline to submit a paper for <i>JACET Kansai Journal</i> No. 29                                                                                  |
| 2026/10/17   | 第2回研究交流会(REP)@オンライン<br>第2回支部講演会・支部役員会@オンライン<br>Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 2nd Meeting<br>Kansai Chapter 2nd Lecture Meeting / Chapter Board Meeting, online |
| 2026/11/14   | 支部総会@オンライン<br>Chapter Annual Meeting, online                                                                                                                                      |
| 2027/2/20    | 第3回研究交流会(REP)@オンライン<br>第3回支部講演会@オンライン<br>Kansai Chapter Research Exchange Platform (REP), 3rd Meeting<br>Kansai Chapter 3rd Lecture Meeting, online                               |
| 2027/3/6     | 支部大会・支部役員会@龍谷大学<br>Kansai Chapter Conference / Chapter Board Meeting, Ryukoku University                                                                                          |
| 2027/3/31    | 『JACET 関西支部紀要』29号刊行<br>Publication of <i>JACET Kansai Journal</i> No.                                                                                                             |

**\* 支部大会の会場校が変更となっております。ご注意ください。**また、上記イベントは諸事情により変更が生じる場合がございます。最新情報は支部ホームページ(<http://www.jacet-kansai.org/>)にて随時更新しておりますので、ご確認ください。

Please check the Kansai Chapter website for specific details: <http://www.jacet-kansai.org/>.

### ■2026年度JACET関西支部大会■

#### Kansai Chapter 2026 Conference

2026年度の支部大会は、下記の要領で開催予定です。詳細につきましては、今後順次ご案内いたします。多くの方のご参加・ご応募を心よりお待ちしております。

日時:2027年3月6日(土)

場所:龍谷大学深草キャンパス

テーマ:「ことば・対話・学びの未来」(仮)

基調講演には村田和代先生(龍谷大学副学長)、高山芳樹先生(東京学芸大学)をお招きする予定です。生成AIの普及や社会的変化が進むなか、新たな時代を迎えた語学教育・応用言語学のあり方について、多くの皆様とともに考える機会となることを願っております。

We are pleased to announce that the Kansai Chapter 2026 Conference will be held on March 6, 2027, at the Fukakusa Campus of Ryukoku University. The conference theme is tentatively titled "The Future of Language, Dialogue, and Learning." Further details will be announced in due course. We cordially invite submissions from interested participants and look forward to your active participation.

We are honored to welcome Kazuyo Murata (Vice President, Ryukoku University), and Yoshiki Takayama (Tokyo Gakuji University) as our keynote speakers. At a time when language education and applied linguistics are entering a new era shaped by rapid social and technological change, we sincerely hope that this conference will provide a meaningful opportunity for participants to reflect together on the future of language education, dialogue, and learning. We warmly welcome everyone to join us in this exciting event.

### ■2025年度第3回支部講演会 報告■

#### Kansai Chapter Third Lecture Meeting

2025年度第3回支部講演会は、2026年2月21日(土)に橋崎諒太郎先生と井狩幸雄先生を迎えオンライン(Zoom)にて開催されました。

橋崎諒太郎先生は効果的なシャドーイングや実践方法、また教室で実際に行う際の教材の選定など実践的な観点から議論されました。続いて、井狩幸雄先生が脳科学研究からの知見を基にリスニング活動の意味と役割についてご講演されました。

シャドーイング、音読やリスニングについて改めてその効果、実証的な研究について理解を深めることができ、多くのご参加者と好評を得て盛況のうちに終了しました。

日時:2026年2月21日(土) 15:20~17:00

会場:オンライン(Zoom)

講師:橋崎諒太郎先生(松山大学講師)、

井狩幸雄先生(大阪公立大学非常勤講師、大阪市立大学名誉教授)

The 3rd Kansai Chapter Lecture Meeting organized by Listening SIG was held on Saturday, 21st February 2026. It was an opportunity to learn about the effects of shadowing and listening activities from viewpoints of both

theories and practices. With a large number of attendees, the event was a great success.

Date and Time: Saturday, February 21, 2026, 15:20–17:00

Venue: Online (Zoom)

Lecture Titles: What Conditions Enhance the Effects of Vocalization? A Consideration of Effective Uses of Shadowing and Reading Aloud

On Listening from the Viewpoint of Brain Sciences

Lecturers: Ryutaro HASHIZAKI (Lecturer, Matsuyama University), Yukio IKARI (Professor Emeritus Osaka City University, Part-time lecturer Osaka Metropolitan University)

### ■ 2026 年度第 1 回支部講演会のお知らせ ■ Kansai Chapter 2026 Lecture Meeting

2026 年度第 1 回支部講演会は、下記の通り小田眞幸先生による招待講演を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております。詳細は、支部ホームページ (<https://jacet-kansai.org/meeting/>) をご覧ください。

日時: 2026 年 6 月 20 日(土) 15:20~17:00

会場: オンライン (Zoom) (アクセス情報は後日お知らせします)

講師: 小田眞幸先生 (玉川大学)

演題: 「実践的応用言語学: ELF を意識した語学センターの挑戦」 Applied Linguistics in Action: Developing an ELF-aware language center.

概要: 詳細は <http://www.jacet-kansai.org/> にてご確認ください。

参加費: JACET 会員は参加費無料、非会員は有料 (500 円) ※事前に上記ホームページからお申し込みください。

使用言語: 英語および日本語

The Kansai Chapter First Lecture Meeting of the 2026 academic year will be held on Saturday, June 20. We will inform you later about the details via our website (<https://jacet-kansai.org/>).

Date: Saturday, June 20, 2026, 15:20–17:00

Venue: Online (TBA)

Speaker: Masaki Oda (Professor, Tamagawa University)

Title: 「実践的応用言語学: ELF を意識した語学センターの挑戦」 Applied Linguistics in Action: Developing an ELF-aware language center.

Abstract: Details will be available on the Kansai Chapter website (<https://jacet-kansai.org/>).

Fee: JACET member, free; non-member, 500 yen. Pre-registration is required.

Main languages: English and Japanese

### ■ 2026 年度第 1 回 REP 研究交流会のお知らせ ■ Kansai Chapter 2026 REP Meeting

2026 年度の第 1 回研究交流会 (REP) を下記のとおり開催します。今回は、3 件の研究発表がございます。

日時 2026 年 6 月 20 日(土) 14:00~15:15

会場: オンライン (Zoom) (アクセス情報は後日お知らせします)

参加費 会員・非会員とも無料

発表者:

大槻きょう子 (奈良県立大学)

「政治的フライヤにおける人称代名詞の用法: 批判的談話分析のアプローチから」

原田洋子 (大阪公立大学、独立研究者)

「ELSA Speak を用いた AI 時代の発音学習」

古本杏奈 (神戸大学大学院国際文化学専攻・学生)

「英語主要動詞の使用実態に見るジャンル差と地域差—中高英語教育における動詞指導の改善に向けて—」

The first Research Exchange Platform (REP) meeting of AY2026 will be held via Zoom on Saturday, June 20, 2026, from 14:00 to 15:15. The program will feature three presentations by Kyoko Otsuki (Nara Prefectural University), Yoko Harada (Osaka Metropolitan University, Independent Researcher), and Anna Furumoto (Graduate School of Intercultural Studies, Kobe University). Participation is free for both JACET members and non-members, and advance registration through Peatix is required.

### ■ JACET 第 65 回国際大会のお知らせ ■ JACET 65th International Convention

2026 年 8 月 26 日(水) から 28 日(金) まで立命館大学にて JACET 第 65 回国際大会が開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。

テーマ: 応用言語学が結ぶ国際交流—理論・評価・実践の未来

日程: 2026 年 8 月 26 日(水)~8 月 28 日(金)

場所: 立命館大学 (大阪いばらきキャンパス)

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-150

<https://www.jacet.org/convention/2026-2/registration/>

We are pleased to announce that the 65th International Convention will be held from August 26 to 28, 2026. We look forward to welcoming you to Osaka.

Theme: Connecting Worlds Through Applied Linguistics: Shaping the Future of Theory, Assessment, and Practice

Dates: Wednesday, August 26 - Friday, August 28, 2026

Venue: Ritsumeikan University Osaka Ibaraki Campus (OIC)



■紀要編集委員会より■

Messages from Editorial Committee

『JACET 関西支部紀要』第 28 号を 2026 年 3 月末に会員の皆様にお届け致しました。研究論文 4 本を掲載しております。ご協力いただきました査読委員の先生方には、紀要編集委員会一同改めまして心よりお礼申し上げます。今後ともよろしくお願いいたします。

2026 年 7 月 1 日より、第 29 号の投稿受付を開始いたします(投稿締切: 9 月 30 日)。第 25 号から「研究論文」「研究ノート」「実践研究論文」「実践ノート」(以上査読有)「SIG 報告」(査読無)の 5 つの種別への投稿が募集されています。「研究論文」「実践研究論文」は 20 ページ以内、「研究ノート」「実践ノート」は 15 ページ以内、「SIG 報告」は 6 ページ以内となっています。詳細は JACET 関西ウェブサイトをご覧ください。

支部ホームページ(<http://www.jacet-kansai.org/>)の投稿用テンプレート(WORD)をそのままご使用いただければ幸いです。

投稿期限:2026 年 9 月 30 日(水)午後 11 時 59 分

論文送付先:紀要編集委員会 事務局長

星原光江(京都ノートルダム女子大学)

jacetkj [AT] gmail.com

提出方法:ウェブサイトでの申し込みと電子メールでの添付ファイル(WORD と PDF)。

(原稿郵送は受け付けません。)

※ 受領後 3 日以内に事務局より確認の返信が届きます。

万一、3 日経っても返信が届かない場合には、上記のメールアドレスにお問い合わせください。

※ 提出方法の詳細は、支部ホームページ

<http://www.jacet-kansai.org/submission.html>

をご覧ください。

重要な日程:

|                     |          |
|---------------------|----------|
| 2026 年 9 月 30 日(必着) | 投稿原稿締切   |
| 2026 年 11 月 30 日    | 審査結果通知   |
| 2027 年 1 月 6 日(必着)  | 最終修正原稿締切 |
| 2027 年 3 月 31 日     | 刊行       |

The JACET Kansai Journal (JKJ) Editorial Committee announced the publication of JKJ No.28, which was sent to members at the end of March 2026. The journal contains four research papers. The Editorial Committee would like to express its sincere gratitude to the reviewers who devoted much time and effort to the editorial process.

We welcome your submissions for the next issue, JKJ No. 29, which requires online registrations starting on July 1st.

Please check the guidelines for details on the submission procedures and requirements. You can find the details on the JACET KANSAI website.

Please use our template so that we can minimize our proofreading process.

1. Go to JACET Kansai Chapter website, and submit your application.
2. Send your manuscripts (WORD and PDF) to:  
Mitsue HOSHIHARA (Kyoto Notre Dame University)  
JACET Kansai Journal Secretariat  
jacetkj [AT] gmail.com

Only e-mail submission will be accepted. Postal submission of paper-based manuscripts will NOT be accepted. Prepare your manuscript according to the JKJ instructions using Microsoft Word. Send it as an attached file with an email message to Mitsue HOSHIHARA (Kyoto Notre Dame University), Secretariat, JACET Kansai Journal.

If you do not receive a message confirming the receipt of your manuscript within 3 days, please email the Secretariat to request confirmation.

Important Dates:

- Deadline for manuscripts:  
September 30, 2026 (via email as an attached file)
- Announcement of editorial decision:  
November 30, 2026
- Deadline for receipt of revised final manuscripts:  
January 6, 2027 (via email as an attached file)
- Publication: March 31, 2027

Please refer to the guidelines and template at the Kansai Chapter website (<http://www.jacet-kansai.org>).

■事務局より■

Messages from Kansai Chapter

4 月 1 日より、支部事務局を担当します総務幹事の大槻きょう子です。1 年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度の体制は、石川慎一郎支部長、松田紀子副支部長、山中司副支部長を中心として、総務幹事を大槻・米崎里先生、財務幹事を坂本輝世先生・細越響子先生、紀要幹事を星原光江先生・伊計拓郎先生、広報幹事を石田菖先生・神谷健一先生が務めます。この新体制で、会員の皆様にとって意義深く魅力ある支部活動となるよう、互いに協力しながら取り組んでまいります。

また、本年度の研究企画委員会の体制として、委員長をデイヴィス恵美先生、副委員長を後藤秀貴先生、亀本真朱先生が務めます。合計 19 名の研究企画委員が心強い布陣で支部大会を盛り上げてまいります。皆様のあたたかいご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

以下、2026 年度に役員に就任された先生方と 2025 年度をもってご退任された先生方より、メッセージを頂戴いたしましたので、ご紹介させていただきます。退任された先生方におかれましては長年にわたり支部の発展にご尽力くださいましたこと、深く感謝申し上げます。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

## ■新任のご挨拶■

### Messages from Kansai Chapter Officers Beginning Their Term of Office

#### 新総務幹事・事務局 米崎 里先生(関西学院大学)

今年度より総務幹事(副)を務めさせていただくことになりました。長年JACET関西支部に所属してまいりましたが、このような形で事務局を担当させていただくのは初めてです。石川先生よりお声がけをいただき、これまでお世話になった学会への恩返しの気持ちを込めて、微力ながら支部運営に貢献できればと思っております。至らない点も多々あるかと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 新財務幹事 細越 響子先生(京都府立大学)

今年度より財務幹事(副)を拝命いたしました、京都府立大学の細越響子と申します。JACET 関西支部では、2017～2020 年度に研究企画委員、2021 年度に財務幹事として大変貴重な経験をさせていただきました。このたび光栄なお声がけを頂戴し学会の財務に関わることとなり、身の引き締まる思いです。至らぬ点もあるかと存じますが、精一杯努めてまいります。どうかご指導ご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

#### 新紀要幹事 伊計 拓郎先生(帝塚山学院大学)

本年度、紀要幹事(副)を務めることになりました、帝塚山学院大学の伊計拓郎です。英語教育および JACET 関西支部のさらなる発展に少しでも貢献できるよう、精一杯努めてまいります。また、多くの方々と交流できることを楽しみにしております。至らない点もあるかと存じますが、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### 新広報幹事 神谷 健一先生(大阪工業大学)

このたび新たに広報幹事(副)を務めさせていただくことになりました。私の最初の仕事として会員の皆様にお送りするメールリストについて、これまでの Google グループに代わり、さくらインターネットを利用して新たに立ち上げました。関西支部の Web サイトに余計な改行タグが入っている箇所があるなど、お見苦しい箇所も多くあり、更新が急がれることも現状把握しております。なかなか時間が取れない状況ではありますが、少しでもお役に立てるよう努力いたします。よろしくお願いいたします。

#### 新研究企画委員会委員長 デイヴィス 恵美先生(大阪成蹊大学)

本年度、研究企画委員長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。今年の支部大会は、2027 年 3 月 6 日(土)に龍谷大学深草キャンパスにて開催いたします。18 名の委員の先生方とともにしっかりと準備を進め、昨年度以上に活気あふれる大会を創り上げたいと意気込んでおります。大会を魅力あるものにするのは、皆様の研究成果と活発なご議論です。多くの先生方の研究発表へのエントリーとご参加を、心よりお願い申し上げます。

## ■退任のご挨拶■

### Messages from Kansai Chapter Officers Completing Their Term of Office

#### 旧総務幹事・事務局 山岡 華菜子先生(龍谷大学)

私は 2024 年から 2 年間総務幹事を務めさせていただきました。研究企画委員しか務めたことの無い私にとって非常に大きな役目で、最初は不安でいっぱいでした。頼りない総務幹事でしたが、支部長の石川先生をはじめ各幹事の先生方に助けていただきながらやり遂げることができました。素晴らしい先生方とともに本当に多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

#### 旧財務幹事 野田 三貴先生(大阪公立大学)

財務幹事として 2 年間、大変お世話になりました。任期中は学会運営を通じて多くのことを学ばせていただき、大変貴重な経験となりました。これもひとえに、石川支部長をはじめ諸先生方のご指導ご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。2026 年度以降は研究企画委員として引き続きお世話になります。微力ではございますが、支部の発展に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 旧紀要幹事 板垣 静香先生(立命館大学)

紀要幹事として 2 年間、大変お世話になり、ありがとうございました。紀要編集委員長、編集委員の先生方、査読委員の先生方、そして支部長、幹事の先生方、多くの方々に支えていただき、無事に任期を終えることができました。心より感謝申し上げます。今後は一会員として、皆様に学会でお目にかかれまこと、楽しみにしております。JACET 関西支部の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

#### 旧広報幹事 松岡 真由子(立命館大学)

研究企画委員、副委員長、広報幹事として、長きにわたり務めさせていただきました。神戸学院大学の仁科先生にお願いをして研究企画委員としてのお役をいただいたことが、関西支部との関わりの始まりでした。支部大会運営や広報業務など、慣れないことも多くありましたが、石川支部長先生をはじめ、多くの先生方に温かく支えていただきました。業務内容が整理され、誰でもお役を担えるような体制に整えていただき、感謝しております。関西支部の先生方とご一緒できたことに、心より感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 旧研究企画委員長 蔦田和美先生(関西外国語大学)

JACET 関西支部では、広報幹事、研究企画委員を務めさせていただきました。様々な業務を通して多くの先生方との触れ合いがあり、今は充実感に満ちた貴重な日々が思い起こされます。特に 2025 年度は研究企画委員長という立場で、諸先生方のご支援をいただきながら支部大会を企画運営できたことは大きな財産となりました。改めましてこれまでのご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。JACET 関西の今後のさらなる進化を楽しみにして

おります。

#### 旧研究企画委員 松永舞先生(京都産業大学)

2022 年度より 4 年間、研究企画委員をつとめました。委員 1 年目の支部大会はオンライン開催、2 年目、3 年目は対面開催(半日)、4 年目は対面開催(一日)となり、様々な形態の学会開催を経験することができて勉強になりました。委員長の先生方をはじめ、委員のみなさまの高い能力と真面目さにこちらも気がひさしまりました。今後も石川先生(支部長)を中心とした関西支部の先進的な取り組みを、一会員として応援しております。4 年間ありがとうございました。

#### 旧研究企画委員 西条 正樹先生(日本大学)

2023 年度より 3 年間、研究企画委員を務めさせていただきました。在任中は、各大学よりご参加いただいた先生方と共に、貴重な経験を積むことができました。最終年度は、関東の大学への異動に伴い、十分な貢献が叶いませんでしたが、大変充実した 3 年間を過ごすことができました。JACET 関西支部の更なる発展を心よりお祈り申し上げます。

### ■会員情報の変更■

#### Update Membership Information

支部会員向けの各種案内の配送やメーリング・リストによる情報の配信に使用いたしますので、会員情報(住所、メールアドレス、所属、電話番号等)が変わられた方は、**必ず**ご連絡ください。なお、関西支部では名簿の作成・管理は行っておりません。会員情報の変更のご連絡は、本部事務局(jacet@zb3.so-net.ne.jp)までお願いいたします。

Please immediately report any changes in your address, affiliation, e-mail address, telephone number, and other information to the **JACET Main Office** (jacet@zb3.so-net.ne.jp).

### ■あとがき■

#### Editors' Note

本号の発行に際し、ご多忙のなかご執筆ならびにご校正にご協力くださいました先生方に、心より御礼申し上げます。梅雨の季節を迎え、蒸し暑さを感じる日も増えてまいりました。皆さまどうぞご自愛のうえ、涼やかにお過ごしください。次号は 9 月の発行を予定しております。

広報 石田 菖(関西大学)・神谷 健一(大阪工業大学)

We would like to express our sincere gratitude to all the contributors and proofreaders who kindly assisted with the publication of this issue. As the rainy season begins, we are experiencing more humid days. We hope that you will take good care of yourselves and stay cool.

The next issue is scheduled for publication in September.

PR: Ayame Ishida (Kansai University) • Kenichi Kamiya (Osaka Institute of Technology)